

貴重な文化財を火災から守る

～国営昭和記念公園の「こもれびの里」において消防演習、自衛消防訓練を実施～



文化財防火デーに伴い1月29日（月）に国営昭和記念公園内の「こもれびの里」において、消防演習と自衛消防訓練を実施しました。

こもれびの里は、江戸中期に建てられた農家の建物が移築復元され、昭和30年代の武蔵野の農村風景や当時の暮らしを再現したもので、広く市民に愛されている施設です。

消防演習では、自衛消防隊による初期消火及び文化財を守るための放水銃による放水、そして消防隊と消防団による消火活動が行われました。訓練参加者は「今回の訓練で火災時の初期対応の大切さを再認識しました。これからも、火災への備えを万全にして、貴重な文化財を守っていきます。」と思いを新たにしていました。

（文責 防火管理係）



貴重な文化財を火災から守る

くにたち郷土文化館で文化財防火デーに伴う消防演習を実施



毎年1月26日は、火災などから文化財を守ろうと呼びかける「文化財防火デー」です。当署では1月30日（火）に、国立市にある「くにたち郷土文化館」において消防演習を行いました。

演習は、郷土文化館受付から出火し、建物に燃え広がった想定で行われました。最初に自衛消防隊と自主防災組織が119番通報や初期消火をしたのち、到着した立川消防署と国立市消防団のポンプ車により、一斉放水を行いました。

（文責：谷保出張所）

